



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,658	22.7	211		106		96	
26年3月期第2四半期	5,428	6.1	251		187		1,047	

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 105百万円 ( %) 26年3月期第2四半期 1,304百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	3.44	
26年3月期第2四半期	37.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
27年3月期第2四半期	17,786		7,861		43.1	273.10
26年3月期	18,037		7,729		41.7	267.76

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,664百万円 26年3月期 7,514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期				2.00	2.00
27年3月期					
27年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,900	14.8	55		150		40	95.3	1.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 平湖黒田捷納泰克商貿有限公司、除外 社 (社名)  
詳細については、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	28,100,000 株	26年3月期	28,100,000 株
27年3月期2Q	35,540 株	26年3月期	35,133 株
27年3月期2Q	28,064,664 株	26年3月期2Q	28,067,373 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済状況は中国経済の成長鈍化による世界経済への影響や消費税増税等による国内消費の縮小が懸念されたものの、政府による財政・金融政策の効果等により回復基調で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループの主要顧客である半導体・液晶市場に加えて自動車市場も堅調に推移し、受注高7,255百万円（前年同期比1,603百万円、28.4%増）、売上高6,658百万円（前年同期比1,229百万円、22.7%増）となりました。利益面に関しては、前年同期に比較して増収となったものの、残念ながら経常損失額を縮小するレベルでの回復結果となりました。主な理由としては、利益率の低い製品の売上が増加したこと、人件費、電力料等の増加を主因とし売上原価が前年同期比1,114百万円増加したこと、販売費及び一般管理費が前年同期比75百万円増加したこと等に加え、8月に実施した基幹情報システムの全面刷新により生産面で混乱が発生、受注や売上にも影響を及ぼし、収益の足を引っ張る要因となってしまいました。結果として、経常損失106百万円（前年同期は経常損失187百万円）、四半期純損失96百万円（本土地売却益を計上した前年同期は四半期純利益1,047百万円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ○駆動システム

当事業セグメントの主要顧客である半導体・液晶市場が堅調に推移したことにより、受注高3,357百万円（前年同期比885百万円、35.8%増）、売上高3,019百万円（前年同期比618百万円、25.8%増）となりました。利益面では企業買収によるのれん償却等の影響はあったものの、営業利益52百万円（前年同期比5百万円、11.3%増）の結果となりました。

#### ○金型システム

新型ハイブリッド車向けのモーターコア受注が好調だったことにより、当事業セグメントの受注高は1,851百万円（前年同期比618百万円、50.1%増）、売上高は1,729百万円（前年同期比465百万円、36.9%増）の増収となりました。しかしながら、相対的に利益率の低い製品の売上が増加したことに加えて、前年同期には営業利益を計上していたマレーシアの子会社が大口顧客の生産低迷により営業赤字と不調であったことなどにより、営業損失178百万円（前年同期は営業損失164百万円）の結果となりました。

#### ○機工・計測システム

ツーリング事業譲渡による生産終了商品の集中的売上好調な自動車業界向けのビジネスに支えられ、受注高は2,058百万円（前年同期比103百万円、5.3%増）、売上高は1,921百万円（前年同期比148百万円、8.4%増）と堅調に推移しました。しかしながら、構造改革によるコスト削減効果はこれから実現されることもあり、営業損失56百万円（前年同期の営業損失119百万円）と損失縮小レベルの結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,786百万円となり、前連結会計年度末と比較して251百万円減少しました。これは主に仕掛品の増加等により流動資産が171百万円増加したのに対し、固定資産が423百万円減少したことによるものです。

一方負債合計額は9,924百万円となり、前連結会計年度末と比較して384百万円減少しました。これは主にファクタリング債務の増加等により流動負債が253百万円増加したのに対し、退職給付に係る負債の減少等により固定負債が637百万円減少したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は7,861百万円となり、前連結会計年度末と比較して132百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が91百万円増加したことによるものです。

#### キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して6百万円減の2,236百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は427百万円（前年同四半期14百万円の減少）となりました。これは主に棚卸資産の増加、税金等調整前当期純損失などにより資金が減少した一方、減価償却費、仕入債務の増加などにより資金が増加したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は126百万円（前年同四半期2,431百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は302百万円（前年同四半期2,147百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の返済を実行したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月13日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次の通りであります。平成26年3月に中国においてボールねじ、アクチュエータ、工作機械の輸出入販売を目的として、平湖黒田捷納泰克商貿有限公司を新規設立しております。

なお、当該子会社は重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について退職給付の見込支払日までの平均期間とする方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が409,846千円減少し、利益剰余金が264,351千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に及ぼす影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,268,188	2,261,893
受取手形及び売掛金	2,790,680	2,721,113
商品及び製品	432,684	447,994
仕掛品	1,143,207	1,198,977
原材料及び貯蔵品	493,558	527,189
その他	583,480	725,151
貸倒引当金	26,133	25,183
流動資産合計	7,685,667	7,857,135
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,636,058	2,574,687
土地	1,926,258	1,888,125
その他(純額)	1,615,988	1,458,140
有形固定資産合計	6,178,304	5,920,954
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,464,169	1,397,256
その他	360,497	401,782
無形固定資産合計	1,824,667	1,799,038
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,447,950	1,600,632
その他	903,112	609,958
貸倒引当金	1,788	1,496
投資その他の資産合計	2,349,275	2,209,094
固定資産合計	10,352,248	9,929,087
資産合計	18,037,915	17,786,223

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,525,863	2,698,035
短期借入金	1,221,133	1,221,543
未払法人税等	51,271	35,385
賞与引当金	118,593	125,541
その他	833,996	923,940
流動負債合計	4,750,859	5,004,446
固定負債		
長期借入金	1,818,164	1,584,828
役員退職慰労引当金	123,012	115,771
環境対策引当金	93,872	93,872
退職給付に係る負債	2,310,525	1,884,536
その他	1,212,145	1,240,823
固定負債合計	5,557,720	4,919,831
負債合計	10,308,579	9,924,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	2,784,189	2,906,597
自己株式	7,663	7,746
株主資本合計	6,102,921	6,225,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409,787	501,148
土地再評価差額金	801,078	790,228
為替換算調整勘定	472,469	404,074
退職給付に係る調整累計額	271,588	256,336
その他の包括利益累計額合計	1,411,746	1,439,114
少数株主持分	214,667	197,585
純資産合計	7,729,335	7,861,945
負債純資産合計	18,037,915	17,786,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,428,885	6,658,697
売上原価	4,183,175	5,297,706
売上総利益	1,245,709	1,360,990
販売費及び一般管理費	1,497,434	1,572,449
営業損失( )	251,724	211,458
営業外収益		
持分法による投資利益	7,401	5,282
設備賃貸料	34,839	27,201
受取ロイヤリティー	43,723	46,449
助成金収入	22,556	21,912
その他	85,272	121,082
営業外収益合計	193,792	221,928
営業外費用		
支払利息	58,798	41,767
シンジケートローン手数料	26,999	-
その他	43,853	74,998
営業外費用合計	129,651	116,766
経常損失( )	187,584	106,296
特別利益		
固定資産売却益	1,284,309	2,189
特別利益合計	1,284,309	2,189
特別損失		
投資有価証券評価損	589	-
固定資産売却損	-	1,766
固定資産除却損	1,867	0
クレーム対策関連費用	67,000	-
本社移転費用	18,452	-
事業譲渡損	115,591	-
事業構造改善費用	43,504	-
特別損失合計	247,004	1,766
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	849,721	105,873
法人税、住民税及び事業税	27,572	29,293
法人税等調整額	225,566	23,339
法人税等合計	197,993	5,953
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,047,715	111,827
少数株主利益又は少数株主損失( )	69	15,167
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,047,646	96,659



( 四半期連結包括利益計算書 )  
 ( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失 ( )	1,047,715	111,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,092	91,360
為替換算調整勘定	187,379	70,115
退職給付に係る調整額	-	15,252
その他の包括利益合計	256,472	5,993
四半期包括利益	1,304,187	105,834
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,293,821	88,752
少数株主に係る四半期包括利益	10,366	17,081

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	849,721	105,873
減価償却費	321,933	330,093
のれん償却額	32,330	50,541
貸倒引当金の増減額( は減少)	20	923
賞与引当金の増減額( は減少)	5,069	6,947
退職給付引当金の増減額( は減少)	15,120	-
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	12,003	7,241
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	-	7,641
事業譲渡損	115,591	-
受取利息及び受取配当金	13,768	13,593
支払利息	58,798	41,767
持分法による投資損益( は益)	7,401	5,282
有形固定資産売却損益( は益)	1,284,309	423
有形固定資産除却損	1,867	0
売上債権の増減額( は増加)	51,071	61,899
たな卸資産の増減額( は増加)	74,831	111,313
仕入債務の増減額( は減少)	124,011	172,804
その他の流動資産の増減額( は増加)	73,253	69,559
その他の流動負債の増減額( は減少)	69,586	134,592
その他	4,219	1,561
小計	58,468	490,514
利息及び配当金の受取額	13,768	14,584
利息の支払額	51,421	41,861
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	35,368	35,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,553	427,430
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	363	3,810
有形及び無形固定資産の取得による支出	119,442	151,036
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,589,066	38,574
敷金及び保証金の差入による支出	34,882	-
その他	2,782	10,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,431,595	126,910
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	2,364,300	16,119
長期借入れによる収入	1,663,180	-
長期借入金の返済による支出	1,334,579	240,017
リース債務の返済による支出	83,373	80,524
自己株式の取得による支出	85	83
配当金の支払額	28,067	56,134
セールアンド割賦バック取引による収入	-	100,250
セールアンド割賦バック債務返済による支出	-	9,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,147,225	302,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,452	4,431
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	283,269	6,295
現金及び現金同等物の期首残高	1,948,144	2,242,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,231,414	2,236,449

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計 上額(注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,394,572	1,263,719	1,770,594	5,428,885	-	5,428,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,942	-	2,498	8,440	8,440	-
計	2,400,514	1,263,719	1,773,093	5,437,326	8,440	5,428,885
セグメント利益又は損失( )	47,090	164,141	119,613	236,664	15,060	251,724

(注)1 セグメント損失の調整額 15,060千円は、セグメント間取引消去 2,166千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費 12,894千円であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計 上額(注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,011,560	1,729,420	1,917,717	6,658,697	-	6,658,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,854	5	3,953	11,813	11,813	-
計	3,019,414	1,729,425	1,921,670	6,670,510	11,813	6,658,697
セグメント利益又は損失( )	52,420	178,161	56,782	182,524	28,929	211,458

(注)1 セグメント損失の調整額 28,929千円は、セグメント間取引消去 2,706千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費 26,223千円であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。